

箕輪町 議会だより

みんなのぎかい

Minowa Town Assembly News

第97号
2026.8.1



みのわ祭りの様子

政治と町づくりを近づける住民交流会

特集

ブロックを並べたら、町が見えてきた。…P2

CONTENTS	● 町民体育館、生まれ変わる …… P4	● 町政のここが聞きたい！一般質問 … P9
	● 6月定例会で決まったこと …… P5	● 議会活動日誌 …… P18
	● 審査のなかみ …… P6	● 町民の声 …… P19
	● 数字の先に、温泉の未来を問う … P8	● 自治のチカラ …… P20

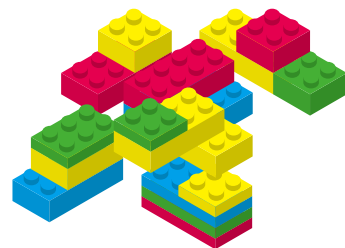


議会ホームページ

▶ 一般質問の様子を動画で！ 各議員の二次元コードを読み取ると動画を視聴できます。

ブロックを並べたら、 町が見えてきた。

議会活動活性化委員会



政治と町づくりを近づける住民交流会

5月18日、みのわBASEで町民の皆さんとブロックを使ったワークショップを行いました。

これはブロックを使い、対話や問題解決を行う実践的なメソッド(レゴ®シリアスプレイ®)です。

当日は専門研修を受けた認定ファシリテーターである議員の進行のもと、和やかに、かつ真剣なやり取りが交わされました。

テーマ **みのわ町で大切**にしていること

ブロックがつなぐ「対話」

参加者がそれぞれ自分の思いをブロックで表現し、大切にしている箕輪町を伝えました。



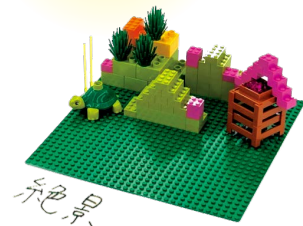
ブロックの山から手を動かす参加者。世代もさまざま。

作品に込めた、それぞれの「大切」

参加者の多様な視点や大切な思いが、次のような形になりました。

絶景

移住して毎日、景色が素晴らしいと感じています。この風景がずっと続いてほしい。大事なものは、守っていきたい。



人と人とのつながり

水色のブロックは天竜川。みんなを「愛の架け橋」でつなごう、という意味を込めました。



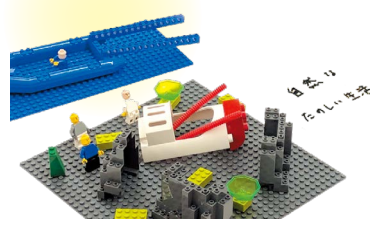
食と農業と教育

食は、人間の体を作ります。農業も教育も、その土台につながっていると思います。

人間にとって大切なもの



自然な楽しい生活



グリーンちゃん合唱団
農地と工業団地
生き生きと暮らす

つないでみたら、 見えてきた

参加者それぞれの作品を一つにつないだとき、そこには新しい「みのわ町」のカタチが浮かび上がってきました。

バラバラの作品が一つにつながり、町の風景になった

「個人の『大切』が、みんなの『大切』につながった！」
(えり〜さん)

「つながるものと、つながらないものがあることが分かった」
(リリーさん)

「つながりの弱い部分がレゴで表現されていて興味深かった」
(Aさん)

「作品を動かしてみるとすべてに関連性がある。バランスが大切ということ」
(チーちゃんさん)

議会に、こんな声が届きました

「一人ひとりの考えをつなげて町を考える。この進め方は素晴らしい。ぜひ議会でも活かしてほしい」
「今日のような、自由なつぶやきができる場はとても素敵だと思います」

あなたなら
どんな町を作りますか？

遊びながら、政治を自分ごとに。

議会というと、少し堅く、遠いものを感じられるかもしれません。だからこそ今回は、遊びの要素を取り入れながら、政治やまちづくりに触れてもらう場をつくりました。言葉だけでは伝えにくい思いや考えも、ブロックで形にすることで見えてくるものがあります。また、参加した人同士が「この人はこんなふうに町を見ているんだ」と知ること、大切な学びです。

議会や町政を身近に感じてもらう。そんな取り組みを、町民の皆さんと一緒に育てていきたいと思います。

議会活動活性化委員会委員長 上田 学

箕輪町の将来を期待。

集まるのも、発言するのも、いつも同じ人。こんな会議をぶち壊してみたいと、初めて議会が挑戦した「レゴ会議」。最初は訳もわからずやっていますが、「他人と同じでなくてもいい」という安心感と、最後は「なんとかなる」ということを通して箕輪町の将来が形となって表現されることを期待しています。

議長 入杉百合子



参加者募集中!

毎月1回開催

あなたもワークショップに参加してみませんか？

政治の難しい知識や、事前の準備は一切不要です。ブロックを組み立てながら、楽しくおしゃべりする感覚でご参加いただけます。「話すのが得意ではない」という方も安心してお越しください。

申し込み方法 右記の二次元コードをスマートフォンで読み取ってお申し込みください。



箕輪町町民体育館、生まれ変わる。

昭和46年の開館以来、半世紀以上にわたって町のスポーツ・健康づくりの拠点として親しまれてきた箕輪町民体育館が、総事業費約16億7千万円をかけた大改修により生まれ変わりました。

竣工までの経緯を、議会での議論とともにお伝えします。

総事業費16億7千万円 町民体育館はなぜ新築ではなく改修に？

町では、「改修・耐震補強」と「新築」の両方を比較して検討しました。

その結果、改修は国の補助制度や有利な起債（借り入れ）を活用でき、町の実質的な負担を抑えながら施設の安全性を高められると判断しました。また、町民体育館はスポーツだけでなく、災害時の避難所や地域交流の拠点でもあることから、将来の維持管理費も含めて検討し、現在の場所で耐震改修とアリーナ増築を行う方針となりました。

車いす利用者や観覧席は？

「エレベーターを設置できたのでは」と多くの声はありましたが、町は、エレベーターの設置は大幅な費用増につながると説明しています。改修後は2階観覧席の利用が難しいため、大会時には、1階アリーナ内に観客席を設ける、車いす利用者も出入口や多目的トイレに近い場所で観覧できるよう配慮する方針です。

ゼロカーボンとどう関係するの？

今回のリニューアルは、建物を改修するだけでなく、照明のLED化や空調などの設備更新により、省エネルギー化を進める内容となっています。これにより、エネルギー使用量や二酸化炭素排出量の削減につながり、町のゼロカーボン推進にも貢献します。施設の屋根に太陽光パネルの設置は、屋根の強度や仕様などの課題もあり、当時は計画できませんでした。

町の財政への影響は？

大型事業の完了で、今後の借り入れは減る見込みです。町民体育館・武道館の整備やゼロカーボン推進事業などの大型事業は、今年度で完了する予定です。町は、これらの事業が終了することで、今後は大規模な施設整備のための借り入れが減り、財政負担も次第に軽くなると見込んでいます。

箕輪町町民体育館 主な歩みと沿革

- 1971年(昭和46年)
箕輪町民体育館開館。地域スポーツの拠点としてスタート。
- 1975年(昭和50年)
敷地内に武道館を増築。柔道や剣道をはじめとする武道振興の機能を強化。
- 2024年(令和6年)
建物の老朽化と2028年（令和10年）に長野県で開催される「信州やまなみ国スポ(国民スポーツ大会)」のフェンシング競技会場としての機能強化を目指し、改修工事開始。
- 2026年(令和8年)
5月29日にオープニングセレモニー。
6月1日より一般開放。

Message

半世紀以上の歴史を受け継ぎながら、最新の設備を備えた体育館へと生まれ変わりました。2028年国民スポーツ大会のフェンシング競技会場となる専門スペースも整備され、スポーツや交流、防災の拠点として新たな役割を担います。町民みんなの財産として、大切に、有効に活用していきましょう。

6月定例会でこんなことが決まりました

■会期：5月29日(金)～6月16日(火) ■議案：13件可決・3件承認 ■報告4件 ■請願1件採択

決定

補正
予算

危険木伐採業務委託料

旧木下南保育園および北側道路沿いの桜など約40本を調査し、状態に応じて伐採や剪定を実施



320万円

北小学校ふるさとルームエアコン設置費用増

利用予定の調理室にエアコンがないため設置



241万円

ゼロカーボン推進事業費

エネルギー自立化分科会を設置し、産業界のニーズ調査や信州大学の学生ワークショップなど行う



380万円

マイナンバーカード交付事務費

5年毎の更新時期で事務量が増加しているため1人増員する



350万円

条例
改正

税条例の一部改正

国の税制改正に合わせ、規定の見直し



何が変わった？

住宅ローン控除▶適用期限を5年間延長
軽自動車税▶環境性能割廃止に伴う規定整理 等

国民健康保険税条例の一部改正

国の制度改正に伴い見直し



▶P7「審査のなかみ(福祉文教委員会)」参照

何が変わった？

子ども・子育て支援金▶国保税に新たな負担を新設
課税限度額▶医療給付費分を引き上げ
軽減基準▶低所得世帯の軽減対象を拡大

条例
制定

乳児等通園支援事業 条例の制定

通称「誰でも通園制度」開始による条例



何が変わった？

未就園児向けの通園支援事業を開始
利用料は1時間300円 等

地域共生ステーション 条例制定

イオン箕輪店内にあった「みのわ〜れ」移転にともない設置する、地域共生ステーションに関する条例

▶P7「審査のなかみ(福祉文教委員会)」参照

箕輪町子育て支援センター 条例の一部を改正

イオン箕輪店内にあった「子育て支援センターほっこりルーム」▶「子育て支援センターいろはぼけっと」に統合



乳児等通園支援事業とは
保育園に通っていない乳幼児が、時間単位で保育園を利用できる事業。一時預かり制度とは異なる。

指定
管理

箕輪町障がい者地域活動支援 センター・箕輪町地域共生 ステーション「みのわ〜れ」

指定管理者：

労働者協同組合ワーカーズコープながの
指定管理料：1,478万円/2年間

請願

学校教育

「さらなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書
提出者 箕輪町公立学校教職員組合執行委員長

■旧木下南保育園の危険木伐採業務委託料 320万円

Q 建物の利活用方針によっては伐採の必要性も変わる。施設の今後の活用について検討状況はどうか。

A 現在は、倉庫として利用しているが、具体的な利活用方針は決まっていない。ただ今回の処置は施設活用の方針にかかわらず、近隣住民や通行車両、園庭を利用する子どもたちの安全確保のため実施するものである。



■宝くじの財源活用事業 (コミュニティ助成事業補助金) 250万円不採択

Q 不採択となった理由は。

A 不採択理由は公表されない。町からは3件申請し、そのうち2件が採択された。例年も1～2件程度の採択である。



Q 申請事業内容は何か。

A 不採択は大出区の暖房機とエアコン整備。採択事業は、富田区公民館への災害時用蓄電池設置、南小河内区の公民館エアコン設置である。



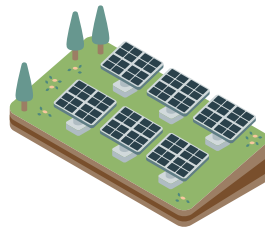
コミュニティ助成事業補助金とは

宝くじの収益を活用し、自治会や地域団体の活動に必要な備品整備などを支援する補助金。

■再生可能エネルギー（ゼロカーボン推進事業）380万円

Q 産業分野における再生可能エネルギーの可能性調査とはどのような内容か。

A 町内企業の脱炭素化や再生可能エネルギー需要のニーズ把握を目的に、アンケート調査や法政大学と連携した企業訪問により実態を調査する。



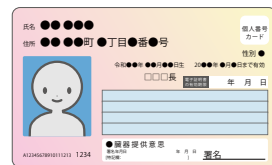
Q ペロブスカイト太陽電池など新技術導入の検討は。

A 高い関心を持って情報収集しているが、日本に1社しかない。相談もできないような混雑状況で現在は供給体制が十分整っておらず、量産化も進んでいないため、具体的な導入段階には至っていない。引き続き動向を注視していく。

■マイナンバーカード交付事務費 350万円

Q マイナンバーカード関連事務は、何が増加しているのか。

A 5年毎の電子証明書更新、10年毎のカード本体更新があるが、カード本体更新の事務量が増加している。



現地確認 6月10日(水)

総務産業常任委員会

- 旧木下南保育園周辺危険木確認



周辺の桜。強風により落ちた枝

- 長岡団地の被災した倉庫 (撤去費25万円)



火災により黒焦げの倉庫

福祉文教常任委員会

- 旧村上商店1階 (みのわ〜れ予定地)



みのわ〜れ予定地

- 東小学校 (学童教室 雨漏り修繕28万6千円)



東小学校雨漏りする部屋

■箕輪町地域共生ステーション条例制定

Q 場所の候補は一箇所だったのか。

A 候補は2箇所だったが1つは2階だった為、高齢者や障がい者の方の利用が難しいので、今回の場所となった。

Q 平日の開所時間について、午後からの開所がベストか。

A 特に精神障がい者は、午前中に活動しにくい為、お昼過ぎがよいとの意見を受け決めた。いろいろなニーズに応じて時間の変更は随時考えていく。

暮らしの居場所
～福祉編～

なぜ？ 移転されるのか

○イオン箕輪店内は、冬場に室温が10度を下回る

○冷暖房設備や窓まわりなどの改修が必要

○改修費は全額町の負担となる

○現在の賃借料：約270万円/年
委託料：74万8,000円/月

平成27年の開設以来、親子の交流や相談の場として利用されてきた障がい者地域活動支援センター「みのわ〜れ」は移転（カフェ・レストランは終了）、子育て支援センター「ほっこりルーム」は統合されます。

■地域共生ステーション「みのわ〜れ」
8月17日(月)の開所予定
場所：松島駅前通り旧村上商店を改修
開所日時：平日 午後12時～午後6時15分
日曜日 午前9時30分～午後3時
定休日：水・木曜日
業務委託先：労働者協同組合ワーカーズ
コープながの
賃借料：約120万円/年
委託料：61万6,000円/月

町コメント：イベント（掃除・散歩・バスや電車の利用）などを通じて、地域の中で活動できるよう支援し、障がいのある方が安心して過ごせる居場所とする

■子育て支援センター「ほっこりルーム」
子育て支援センター
いろはぼけつとに統合
場所：箕輪町大字中箕輪8759番地
開所日時：平日 午前9時～午後4時
日曜日 午前9時～正午
定休日：水曜日、祝日

町コメント：R6,7年に、全室冷暖房化や駐車場・園庭・遊具の整備を行い、利用者増に対応できる環境を整えた。道の駅「みのわテラス」に整備予定の屋内遊戯施設と役割分担を図る

議員の視点

場所が変わるだけでなく、支援のあり方そのものが問われます。費用を抑えながらも、必要な人が安心して通える場になるよう、開所時間、職員体制、交流のあり方を引き続き確認していきます。

税を考える ～国民健康保険税が増額になります～

▶子育て支援の新たな財源が徴収される新制度
子育て支援の新たな財源となる「子ども・子育て支援金制度」がスタートしました。箕輪町の国民健康保険税を改正し、今議会で議決しました。

〈子ども・子育て支援納付金分(新設)〉

所得割	均等割 (18歳以上 1人につき)	均等割 (18歳以上)	平等割 (1世帯)	課税 限度額
0.3%	1,200円	100円	1,200円	3万円

例：4人世帯全員18歳以上の場合 1,200円×4+100円×4+1,200円=6,400円

例：4人世帯18歳以上2人、18歳未満子ども2人
1,200円×2+100円×2+1,200円=3,800円 (一例です)

Q 18歳以上の方が払う均等割の加算部分である100円は、どこに充てられるのか。

A 子ども・子育て施策の財源となる納付金。18歳未満の子どもには均等割(1人1,200円)を負担させないため、その分を18歳以上の被保険者で負担する仕組みになっている。

Q 人口動向によって変動するのか。

A 保険税(保険料)の金額は町の国保運営協議会で決定しており、毎年、被保険者数や県へ納める納付金額などを踏まえて検討・見直しを行う。

数字の先に、 温泉の未来を問う。

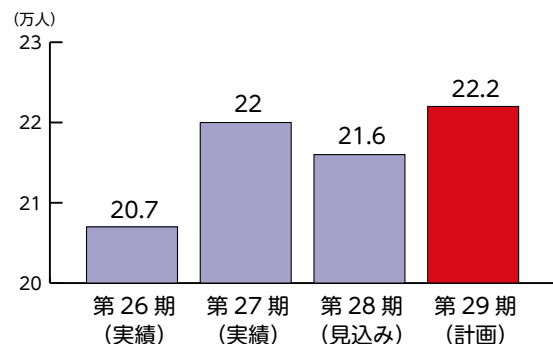
株式会社みのわ振興公社の第28期決算見込み(最終決定は7月)と、第29期事業計画について6月定例会で説明がありました。

ながたの湯・ながた荘は多くの利用がある一方、食材費・光熱費・燃料費の高騰により、利益はわずかです。町の施設として、どう守り、どう続けていくのか。議会でその未来を確認しました。

22万2千人 **3億1,870万円** **+100万円**
 ながたの湯入浴者 公社営業収入 経常利益
 (計画) (計画) (計画/前期は赤字)

ながたの湯入浴者数の推移

第29期は約22万人を計画(赤=計画)



第28/29期施設別営業収入

2本柱はながたの湯・ながた荘

施設	第28期見込み	第29期計画	比較
ながた荘	1億4,020万円	1億4,300万円	+280万円
ながたの湯	1億5,168万円	1億5,500万円	+332万円
ながた自然公園	1,798万円	1,800万円	+2万円
かやの山荘	256万円	270万円	+14万円
合計	3億1,242万円	3億1,870万円	+628万円

施設別の営業利益

28期見込みから、29期は黒字化を計画

	第28期見込み	第29期計画
ながた荘	▲152万4千円	+20万円
ながたの湯	+42万円	+100万円
ながた自然公園	▲46万3千円	±0円
かやの山荘	▲13万円	±0円
合計	▲169万7千円	+120万円

前期に赤字だった施設も、計画では黒字または収支均衡をめざす内容です。

議員の視点

Q 利益はわずか。経営は大丈夫？

A 施設別に見ると、ながた荘は1億4,300万円を売り上げても計画上の利益は20万円、ながたの湯も1億5,500万円を売り上げて利益は100万円。ただし、この数字だけで単純に判断はできません。本社職員の人件費など、公社全体の管理経費を各施設に振り分けているためです。食材費・光熱費・燃料費の高騰で経営は厳しく、今後も収支改善と施設のあり方を確認していく必要があります。

Q 町の施設としての役割は？

A ながたの湯やながた荘は、単に利益を出すための施設ではなく、町民の健康増進、福祉、観光、地域のにぎわいを支える施設です。一方で、赤字を上げ続けることはできません。公共性と経営のバランスをどう取るかが課題です。

Q ながた荘・ながたの湯は値上げするの？

A ながた荘は、食材費など的高騰や宿泊税の開始も踏まえ、1,000円から2,000円程度の料金改定を予定しています。ながたの湯について町長は「あまり値上げはしたくない」と説明しました。町内唯一の公衆浴場として福祉的な役割もあり、入湯税も本来の150円ではなく50円に抑えています。ただし、燃料費など的高騰が続く中、今後の検討課題となっています。



ことば解説 株式会社みのわ振興公社

ながた荘、ながたの湯、ながた自然公園、かやの山荘を運営する会社です。町が出資し、町長が代表取締役を務めるなど、公的な性格の強い会社です。利益だけでなく、町民の健康づくりや観光、地域のにぎわいを支える役割も担っています。

町政の
ここが
聞きたい！

一般質問

議員13人が町に
質問・提案しました。



質問順に掲載

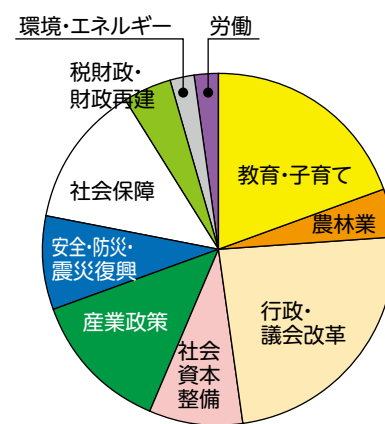
主な質問	議員	ページ
地域を問う力をどう育てるのか	上田 学	10
なぜ？子育て支援施設「ほっこりルーム」閉鎖	平出 広志	10
ながたの湯の環境改善について町の対応は	中澤 清明	11
物価高対策は	寺平 秀行	12
伊那市営火葬場更新時の論議 早急に表面化を	金澤 幸宣	12
小中学校での生成AIの活用方針は	北野めぐみ	13
箕輪町の道の駅はどこを目指していくのか	中村 政義	14
子どもまんなか社会の推進事業の進捗状況は	小出嶋文雄	14
明日葉の会の復活またはそれに代わる事業は	小口 智世	15
資材の入手難個人・零細業者に支援を	岡田建二郎	16
みのわ天竜公園や公共施設の在り方は	中野 友美	16
観光について現状と課題は	白鳥 真吾	17
物価高騰に対する支援策の拡充を	荻原 省三	18

「あなたの関心事はどれ？」

6月議会の一般質問で、議員が取り上げたテーマを、分野ごとに可視化しました。

政策分野の内訳	質問件数(46件)
教育・子育て …………… 9	社会資本整備…………… 4
農林業…………… 2	産業政策…………… 6
行政・議会改革 …………… 11	安全・防災・震災復興 …… 4
	社会福祉…………… 6
	税財政・財政再建 …… 2
	環境・エネルギー …… 1
	労働…………… 1

秋の町長選挙を前に、町長の進退や12年間の町政評価の質問が多く出ました



知ってる？

みのわまちのいいところ

はた「畑かん」が支える農地

町の西部を車で走っていると、畑の脇に突き出した蛇口のような装置を見かけたことはありませんか。これは「畑かん(畑地かんがい)」の雑用水給水栓(通称：立上り)で、その他の給水栓バルブを含めて町内西部に100か所以上設置されています。必要



雑用水給水栓(立上り) 必要な時に水を利用できる

なときにバルブをひねると、農業用水を使うことができ、水源の少ない西天竜幹線水路より西の地域で、田畑への水やりにも活用されています。これは、昭和40年代、国の農業地帯開発プロジェクトで整備された、伊那市・箕輪町・辰野町・南箕輪村にまたがる西部地域の大規模な畑地かんがい事業。日本最大級の畑地かんがい施設として、今も安定した農業用水を

田畑へ送り続けています。

箕輪町では約770haと、4市町村全体の約3割の農地で活用され、果樹や野菜などの生産を支える重要な基盤となっています。施設は、西部箕輪土地改良区の受益者が納める賦課金によって維持・管理され、地域の農業を支えています。

安定した農業は、美しい景観や地域産業を守るだけでなく、土づくりを通じて災害に強い農地にもつながります。新たに農業を始める人や移住者にとっても大きな魅力。普段は目立たない施設ですが、箕輪町の豊かな暮らしを支える大切な財産です。(筆 中野友美)



ファームポンド(調整池) ここに水をため、畑へ送る

地域を問う力を どう育てるのか

教育長 対話と振り返りで
深めたい

みのわ学を 町政への問いに

議員 地域を知る学びを、町政や地域課題について自分で問いを立てる学びへ、どうつなげているか。

教育長 今年度から「みのわ学」に呼び方を一本化し、小中9年間の学びを分かりやすくした。地域を舞台にした学習を進め、子どもたちは体験を通して町の現状を知り、疑問や期待を持つことにつながっている。体験から問いが生まれることを大切にしたい。

議員 中学生模擬議会後、町長や教育長の答弁をもとに、自分たちの問いを振り返る場はあるか。

教育長 フィードバックは大切だが、授業時間には制約がある。議員が議会の役割や仕事を伝え、生徒の探究発表を受け止め、対話を通して、なぜ難しいのか、どうすればできるのかを一緒に考える流れも考えられる。



こどもの声をどう返すか

議員 みのわ未来デザイン会議は、意見を聞く場なのか、政策反映の場なのか、問いを磨く学びの場なのか。

うえだ まなぶ
上田 学 議員



町長 まずは子どもが自分の意見を表に出せることが大事。子どもの意見がすべて実現するわけではないが、できない理由も含めて、町や大人につながっている実感が必要。今年度は、こどもレター、みのわこども会議、こどもフェスタなどを行い、意見をどうフィードバックするか仕組みづくりに時間をかけたい。

地域活動の 新たな担い手を

議員 地域総合活性化事業を、若者、女性、子育て世代、転入者などが地域活動に関わる入り口として位置づけられないか。

町長 これまで区や常会が主体の事業として考えてきたが、人口減少や高齢化の中で、新たな担い手が参加できる地域の関わり合いは必要だ。若者が事業主体となり区を支える形をどう考えるか、検討が必要である。

議員 新しいイベントを増やすことだけが挑戦ではない。大切なのは、人との関係性を変えることではないか。新たに関わった人、区役員以外の参加、活動継続の可能性などを振り返り、次年度改善につなげては。

町長 税を使う以上、事業が自立していくことが基本だが、現実には簡単ではない。新たな発想、人材、仕組みを加えながら考えていく必要がある。制度の運用について内部で相談したい。

なぜ?子育て支援 施設「ほっこりルー ム」閉鎖

町長 運営経費負担増のため

議員 イオン箕輪店内「ほっこりルーム」は昨年度、親子合わせて4,800人利用があり人気の施設である。突然6月末の閉鎖の経過と理由は。

町長 冬期の室温が10度を切るため改修を検討したが、町が全額負担する必要があり、単独運営の場合は経費が増えるため閉鎖の判断をした。

公園整備検討の進捗は

議員 保護者からは安心して遊びができる公園整備の要望を多く聞く。公園整備検討の進捗状況は。

町長 まだ庁内検討している段階、求められる公園像や整備の方向を検討している段階である。

議員 安心して遊べる公園の早期整備を要望する。

熱中症対策の強化を

議員 熱中症対策となるクーリングシェルター（暑熱避難施設）の現状とさらなる拡大が必要と考えるが。

総務課長 公共施設では図書館等6箇所、民間施設では5箇所となっている。他の地域にも必要と思う。

議員 各区公民館にはエアコンが設置されており、公民館も活用することを提案する。

エアコン設置補助の拡大を

議員 低所得世帯向けエアコン設置

ひらいで ひろし
平出 広志 議員



補助について申請件数が低調である。耐用年数を経過した古いエアコンの取り替えにも補助拡大を。

町長 民生委員、ケアマネジャー等を通じて周知を図っている。補助の拡大は良いと思うが県の制度で難しい。

議員 多くの世帯が利用ができる補助制度の実現を要望する。

選挙投票時間の繰り上げは

議員 昨年9月議会でも要請をしたが、期日前投票の周知により当日投票者は減少傾向にある、速やかに投票時間の繰り上げを実施すべき。

選管委員長 一般質問を受け検討を重ねた結果、8月の県知事選挙から終了時間を1時間繰り上げ、19時までとすることを決定した。

議員 選挙管理委員会の決断に敬意を表したい。2ヶ月後の選挙に混乱のない対策を要望する。

持続可能なPTAの現状は

議員 県下PTAの解散報道を目にする、町内の現状と持続可能なPTA活動のための対策内容は。

教育長 小学校では保護者全員参加、中学校では希望調査で、ほぼ全員が加入している。対策として負担軽減のために組織改編・役員数削減の取り組みを行っている。各校の「ふるさとルーム」を通して、地域の皆さんとPTAとの連携ができればありがたい。

ながたの湯の 環境改善について 町の対応は

町長 貼り紙など厳重に注意し
改善を強く指示した…

議員 3月議会でながたの湯の貼り紙や、エントランスや通路の拡幅について改善する旨の答弁をいただいたが、改善が見られない。町は公社に貼り紙やエントランスなどの障害物撤去を指示したのか。

町長 過剰な表現が目立つ掲示物や狭い通路についてご指摘を受け、私から速やかに撤去を命じた。商工観光課の担当者がながたの湯を訪問し、専務や現場職員に内容が過激であると厳重に注意し、掲示板の取り外し等を強く促した。加えて、エントランスホールや通路についても広くするように指示した。

議員 貼り紙は一旦剥がされたが数日のうちに表現や形を変えて復活をしている。業者の営業設備も4月1日に撤去されたが4月15日にまた復活。エントランスは何も手がつけられていない。こういった状況は誰の指示、誰の考えで行われているのか。町から指定管理者へ指示、指導しているのに、町の指示がなぜ速やかに実現しないのか。一旦実現したのもすぐ元に戻ってしまう。こうしたことをどう考えるか。

町長 ながたの湯の支配人もしくは職員の中で実施をしたもので、私たちははっきり言うと知らないところでされたと言ってもいいと思う。今回の事案が協定書の業務の範囲内であるかどうかについては、議論の分かれるところでもあるが、明らかにおかしいという部分もあると思ってい

なかざわ きよあき
中澤 清明 議員



る。現場に対して指示、指導をして行きたいと思うので、ご指摘いただければありがたい。

長期休暇時の学童クラブ に弁当給食の検討を

議員 長期休暇時の学童クラブで弁当給食をして欲しいとの声がある。全国では2割を超える市町村で実施しており、上伊那でも南箕輪村と中川村で実施している。南箕輪村では3年前から取り組んでおり、利用率は10%前後で低いが、希望者がいる以上続けたいとしている。様々な事情を抱えた保護者がおり、弁当づくりが大きな負担となっている働く母親もいるので弁当給食について検討していただけないか。

教育長 学童クラブの状況は満杯状態で長期休業中は100人を超えるようなところもある。また、指導員の高齢化や不足に加え、配慮が必要な児童の増加もあって、友達とのトラブルや指導員への罵声等が頻発しているという状況もある。指導員が注意しても聞かない、やりたい放題の状況もある。保護者からの要求が多様多様という中で保護者へ協力を求めても要望するだけでなかなか協力していただけない。南箕輪村とは学童クラブの受け入れ状況も異なっており、教育委員会の体制も違って、現状では出来ない。

物価高対策は

町長 商工会などと連携しながら実態把握する



多くの町民が集える施設として期待されるみのわテラス

議員 物価高騰や原材料不足が続く中、町民生活や事業者への影響をどう捉え、どのように対応するのか。

町長 町内企業への聞き取りや相談対応を継続し、商工会や金融機関と連携しながら実態把握に努める。国の重点支援交付金なども活用し、暮らしを守る対策を進める考えである。

子育て施策検証は

議員 第5次振興計画における人口減少・子育て対策の成果と課題をどう評価しているのか。

町長 出生率など目標値は下回ったものの、子育て世代の転入による社会増がみられ、子育て支援や移住・定住施策には一定の効果があつた。引き続き切れ目のない支援を進めるとともに、新たな移住施策も検討していく考えである。

雇用創出の推進は

議員 働く場所の確保に向けた取組の成果と今後の課題は何か。

町長 昼夜間人口比率は低下したが、産業構造の変化や周辺市への通勤増

てらだいら しゅうこう
寺平 秀行 議員



加などが要因と考えられる。今後は産業団地造成を具体化し、企業誘致や雇用の創出を進める。また、みのわテラスを活用し、関係人口から定住人口への転換を図っていく考えである。

移動の仕組みを検討

議員 高齢化が進む中での移動支援や生活支援の成果と課題は何か。

町長 町なかタクシーは買い物や通院の利便性向上につながった。一方で、みのちゃんバスとの役割分担や財政負担が課題である。今後は両事業の連携を検討するとともに、フレイル予防や健康増進にも取り組んでいく。

防災力向上は

議員 災害に強いまちづくりに向けた成果と今後の取組は。

総務課長 ハザードマップの改定や防災情報発信の強化、避難所備蓄の充実を進めてきた。今後は防災士と地域の連携強化や若い世代の防災士育成、防災意識向上に取り組み、地域防災力の向上を図る考えである。

伊那市営火葬場更新時の論議 早急に表面化を

町長 築44年を経過、検討を進める段階に来ている

議員 電気設備故障により伊那市営火葬場が5月4日から1ヶ月稼働停止した。施設の老朽化は否めない。火葬能力がゼロになるリスクが現実化した。火葬場とどう向き合うかは非所有自治体の箕輪町にとって「待ったなし」の最重要課題。依存している施設が停止した時どうするか。問題が顕在化してからでは遅い。伊那市長が変わったタイミングでもあり火葬場更新時の論議を早急に表面化し、葬祭業者や町民も巻き込んで先ずは声を上げ、活発化させるべき。



老朽化リスクが懸念される伊那市営火葬場

町長 築44年を経過している。一般的な公共施設建物の耐用年数は50年。検討を進める段階に来ていると思う。伊那市としても火葬場の老朽化については課題と捉えているが、具体的論議にはまだなっていない。現在、伊那市で話し合いを進めるに当たっての根拠資料を作成中。南箕輪村や辰野町とも連携をしながら慎重に論議を進めたい。伊那市がどういう考え方をするのか。箕輪町として参加する方が良いのか。今後の課題だ。火葬というものを町全体で考えるのか、亡くなった方の経費として考えるのか。町として議論もしたことないし、整理したこともない。伊那市の

かなざわ ゆきのぶ
金澤 幸宣 議員



呼びかけに応じ議会と相談しながら協議してゆく。

建設資材調達難による 工事延期等はないか

議員 今年度は圧倒的にソフト事業が多く、ハード事業の代表は松島保育園の大規模改修。中でもプール改修が目玉。既設のコンクリート製をから組み立て式にすることで園庭がかなり広がり非常に有効的である。FRP製と推測する。FRPは100%ナフサ。中東情勢不安の影響で調達が困難を極めている。受注生産になると思うが組み立て式プールへの影響はないか。また、その他の影響は。

町長 現在、実施設計委託中である。物価高騰や中東問題の影響を考慮しつつ工事内容を詰めている段階。FRPは通常発注・納品まで約2ヶ月だが、現在明確な情報がない。土木工事は価格高騰が考えられる。雨水排水工事は塩ビ管等の価格高騰、納期遅れが生じる可能性が高い。工期や工事価格の見直しは避けられないと思う。具体化次第議会に相談する。他、繰越事業も資材価格高騰の影響がある。舗装等では合材の価格高騰・塗料不足、上下水道接続工事は接着剤の資材確保が難しく調達の目安を考慮して発注せざるを得ない状態。

その他の質問

- 高齢者の健康維持増進について
- 新たな防災気象情報について

小中学校での 生成AIの活用方針は

教育長 慎重に進めつつ
試行的に活用を開始

議員 生成AIの教育利用が広がる中、町内の小中学校での活用状況と今後の方針は。

教育長 生成AIは便利だが、思考力の低下や情報漏えいの懸念もあるため、児童生徒の利用は限定的に試行している。調べ学習の整理や英語学習など、教師が確認できる範囲で活用中。ガイドラインを整備し、個人情報を入力しないこと、AIの回答をそのまま使わないことなどを指導している。今後は全国の先進事例を参考に、段階的に活用を広げていく。

議員 AI利用の利点とリスクを踏まえ、今後の児童生徒の活用方針は。

教育長 小5～中3を対象に、安全性の高い教育用AIに限定して利用を開始。文章の推敲補助、英会話練習、プログラミング支援などで活用例を示している。家庭での利用も踏まえ、保護者向けの注意喚起文書も準備中。学習効果を検証しながら活用を広げていく。

AIオンデマンドタクシー 導入は

議員 まちなかタクシーの利用状況と課題は。

町長 登録者1,454人、年間運行15,611回と増加し、高齢者の移動手段として定着している。一方で財政負担や、みのちゃんバスとの役割整理が課題。利用状況を踏まえ改善を検討していく。

きたの
北野 めぐみ 議員



議員 AIオンデマンドタクシーの導入可能性は。

町長 箕輪町は移動距離が短く、乗合方式よりピストン運行が適している。過去の実証実験でも同様の結果であり、導入は慎重に考えている。ただし、受付方法などAI活用の可能性は研究していく。



増加する子どもの 暴力行為について

議員 全国的に小学生の暴力行為が増え、低年齢化が進んでいるが、町内の児童生徒の状況と、今後の対応を伺う。

教育長 町内でも、気持ちを言葉で伝えられず手が出てしまう、衝動的な行動、相手の気持ちを押し量れないなどの傾向が見られる。多様な学びコーディネーターや養護補助員、スクールカウンセラー等と連携し、一人ひとりに寄り添った支援を継続していく。

その他の質問

- 教員の生成AIの活用状況は
- 子どもの人とのかかわり方に、コロナ禍の生活が及ぼした影響は

箕輪町の道の駅はどこを目指して いくのか

町長 地域の多様な声を
施設整備に反映

議員 最近の道の駅は単なる休憩所から大きく変化し、国も機能強化を進めている。全国の登録数は1,230駅を超え、量から質への転換がテーマ。何か特筆するものが求められる。箕輪町の道の駅はどこを目指していくのか。



道の駅化が予定されるみのわテラス

町長 道の駅が地方創生、観光を加速する拠点となることで、道の駅と町全体が一体となって魅力を高め発展していくこと、地域の多様な声を施設整備に反映させることを目指していく。

議員 道の駅を観光客だけでなく、何度も訪れる人を増やすことによって関係人口・交流人口の増加を目指していくよう利用できないか。

町長 もちろん観光客は大事で、交流人口は必要で、そこからいかにして多様で継続的な関わりを持つことのできる関係人口につなげていくか、最終的にこの地域の移住定住まで考えていただくことをめざす。

なかむら まさよし
中村 政義 議員



消防屯所の耐震化は

議員 第3分団の屯所は築50年を超えているが、耐震基準は満たしているのか。



第3分団屯所

総務課長 昨年耐震診断を実施、結果としては東西方向、南北方向、いずれにも耐震判定指標を下回り耐震補強等の改修が必要。

議員 改修等の早急の対処をお願いしたい。

町長 今までのものを同様に改修することは、現時点では否定的。

小中学校の現況

議員 部活の遠征事案、5月6日に部員の乗ったマイクロバスが高速道路で、死傷事故を起こした。箕輪町の部活動で、今までにマイクロバスの使用はあったのか。

教育長 中学校の部活動の移動は、公共交通機関の利用が原則。大会へのバス参加、借上げバス、緑ナンバーとしている。

その他の質問

●今期における政策の評価と展望

子どもまんなか社会 の推進事業の進捗 状況は

町長 意見を聞く場を設ける
など周知を図っている

議員 こどもまんなか社会の推進について、地域全体に対してこどもまんなか社会の普及推進と子どもたちが実感できる取り組みの進捗状況は。

町長 こどもまんなか社会普及啓発講演会、体験発表、子育てイベント、子育てライフを焦点に講演とトークショーなどを行い、普及啓発に効果があったと受け止めている。

また児童生徒に学校で説明をし、ワークショップなど行い子どもの意見を聞く取り組みを進めている。こどもまんなか社会の実現には大人の理解が重要であり、継続的な啓発を進める。

議員 町民の皆さんの意識の変化は

町長 大人が受け入れる環境整備をしていく必要がある。大人が応援するという体制を作っていかなければいけない。

講演会やイベントの参加者からは子どもとの関わりを大切にしていこう、地域でできることは考えていきたいなどの意見が出ている。

子どもが主役の学校づくりは

議員 子どもが主役の学校づくりの進捗状況と子どもの変化は

教育長 子どもたちの変化の特徴的なものが箕輪中学校の新しい制服づくり。大人たちの考え方が覆され子どもたちがこうしたい、箕輪中として何を大切にしていこうかを真剣に考えて出来上がった制服、こういう取り組みが必要だと感じている。

こいでしま ふみお
小出嶋 文雄 議員



子どもの動きへの変化だが、色々やってみて、先生たちに意見を言う、実際言ったことが形になった、できないことがどうしてできないか聞くことができるなどの動きが出始めている。子どもが一人で考えそして行動できる大人になってもらいたい。

議員 これからの課題は。

町長 お金で解決できないことがほとんどだが、仕組みを作り、人が動き子どもたちが、地域が動くことが必要。

保育園のあり方検討事業とは

議員 多様化する保育ニーズを踏まえ、将来にわたり安心で充実した子育て環境を実現することを目的に保育施設のあり方を検討する事業の内容は。

町長 こどもまんなか社会の実現には、保育環境の整備も重要なポイントである。

ハードの面では、改築や統合、長寿命化事業が進んでいるが少子化の中で3歳以上児の保育園入園数は減少しているが、未満児の入園数が増加している状況である。これに伴い保育士の不足と人材確保が困難になっている。また、質の高い保育の必要性、学校との連携などの課題が出てきている。将来にわたり安心安全で持続可能な保育園体制を作っていくことを目的に検討会を作る。

その他の質問

●中東情勢による行政への影響について

明日葉の会の復活 またはそれに代わる 事業は

町長 元気な高齢者の
交流の場作りを検討する

議員 数年前まで独り暮らしの高齢者対象の明日葉の会があり、バスハイクなどをしていた。復活を願う声があるが、充実した暮らしと孤独対策のため、会の復活またはそれに代わる事業の考えは。



町長 会は復活できないが、元気な高齢者の交流の場作りを検討する。

災害時、外国ルーツの方への情報伝達は

議員 災害時、外国ルーツの方への情報伝達はどのようにされるか。

町長 日本語による情報伝達が基本で、多言語対応が十分とはいえない。みのわメイトは外国ルーツ町民の登録が進んでいないことも課題。Facebookなどの活用、やさしい日本語での防災行政無線の発信や、みのわメイトの多言語対応を分かりやすくすることを検討する。

災害時、ペットとの 同行避難の考えは

議員 過去の災害で、一旦避難したがペットが気になり家に帰って被災したケースもある。ペットとの同行避難についての考えは。

町長 環境省作成のガイドラインではペットを連れた避難を基本とし、当町もそのように想定している。

おぐち ちせ
小口 智世 議員



フリースクール等利用時の、 補助の検討の進捗は

議員 過去に質問した際、何らかの補助を検討中との答弁があった。給食費無償化により、フリースクール等の補助に加えて給食費分の補助を始めた自治体もある。検討の進捗は。

教育長 対象者、対象とする事柄、金額や補助率で考えるのか等、制度設計を調整中。できるだけ早い時期に開始できるように考えたい。

ソーラーシェアリングの モデル事業について

議員 長野県地域共生型ソーラーシェアリング普及促進事業のモデル事業について、使用済み太陽光パネルの撤去、廃棄、廃棄の費用の負担を疑問視する町民の声があった。谷風が強い地理的特徴、景観、最終処分場の残存年数なども総合的に鑑みて、事業の実施が検討されるのか。

ゼロカーボン室長 県の委託先で農地や地形などを調査中。農業経営体がパネルを設置する場合は撤去・廃棄も自らの費用で行う。土地を発電事業者へ貸し出す場合は事業者の責任で撤去・廃棄も行う。農林水産省でソーラーシェアリングの規制強化を検討中なので注視している。

その他の質問

●ペット同行避難のマニュアル作成は
●デジタル郵便の推進方法は

資材の入手難 個人・零細業者に 支援を

町長 県の動向を見て
町独自の支援策を講じる

議員 中東情勢の影響から、シンナーやオイルなど入手が困難となっている。個人や零細事業者に経営継続のための財政的な支援を。

町長 国から示された当町への交付金は1,100万円。事業者支援や生活支援など、県の支援メニューで届かない分野への支援策を検討する。

町民体育館の改修に 合わせた諸整備を

議員 町民体育館が改修され、国民スポーツ大会への準備が始まる。周辺案内板の更新や、武道館・町民体育館条例の改正が必要では。

町長 役場入り口の看板、体育館前の看板はそれぞれ実態に則した表示に整備する。

教育長 町民体育館内に『武道場』として位置付けているので、関係条例の改廃を準備する。



更新が予定される看板

県の森林整備方針の 転換、見直しを

議員 長野県では来年度の森林整備から、間伐事業が補助金の対象から外される方針。町有林の整備計画や森林ビジョンとも整合性がつかなくなる。近隣市町村と課題を共有して県

おかだ けんじろう 議員



へ見直しを求めるべき。

町長 県は主伐へ大きく舵を切ろうとしているが、間伐あっての主伐。間伐主体の小規模事業体にとっても影響が大きい。森林組合の理事としても上伊那広域としても県に見直しを求めている。

金利上昇に見合った 奨学金支援制度を

議員 この1年間で200倍～300倍と急激に金利が上昇している。町が行う奨学金の返済支援も、支援期間や上限額など実態に則した見直しを。

町長 経済的な理由で進学機会に影響が出ないよう、地域を担う人材育成の観点からも、支援内容の調査・研究に努める。

中学校の新駐車場 雨や日除けの設備を

議員 中学校の新しい駐車場の東側に、雨や日差しを防げる待機場所を整備しては。

教育長 下校時の待機場所としては、役場や文化センター、みのわBASE等を利用してほしい。



待機場所のない新駐車場

みのわ天竜公園や 公共施設の 在り方は

町長 維持に留まっているが
在り方を検討する

官民連携で作る スポーツ公園の可能性

議員 総事業費約1億5,000万円の、みのわ天竜公園長寿命化工事。子どもや住民の意見反映や合意形成はどう行うか。

町長 開園30年で老朽化した噴水等の修繕であり、公園のコンセプトは変えないため、意見集約を行う予定はない。

議員 全国ではパークPFIで、スケートパークなどスポーツカルチャー特化型の公園活用が成果をあげている。考えは。

町長 ながた自然公園などは可能性もあるが、集客規模からみて民間企業の公募・出店は難しい。

議員 できるか否かは民間企業側が判断することである。行政が可能性を閉ざさず、仕組みをつくり仕掛けていくべきだ。その上で次の世代が求めている「スケートボード・ストライダーパーク」設置の考えは。

町長 若者向け公園の必要性は認識しているが、優先度が低い。場所を選ばないストライダーは、具体的な提案をいただけたら前向きに検討する。



老朽化が進む天竜公園

なかの ともみ 議員



「施設利用料無償」の その先を考える

議員 みのわBASEや夢まちLaboなどの指定管理委託料の合計は年間約7,000万円規模に達している。委託先の成果と評価はどうしているか。また「成果連動型民間委託（PFS）」導入の考えは。

町長 事業報告書による管理業務の実施状況のみ。具体的な成果指標（KPI）はなく、今後の課題。外部要因の評価によるPFSの完全導入は難しい。

議員 本来、自主事業の収益確保が進み委託費用が減っていくのがベスト。さらに持続可能にするため、受益者負担（利用料）を設定し、自主財源確保を進めるべきでは。

町長 必要性は理解するが、「行政サービスは無償が当然」という時代背景もあり、バランスの考慮が必要。

議員 一度無償化にすると見直しは困難。また、同様のサービスを提供する民間事業者の経営も圧迫する。適正な利用料設定を。

観光について 現状と課題は

町長 観光による消費が
十分生まれていない

議員 観光についてどのようになって
いるのかなど声がある。観光について
現状と課題は。

町長 町には豊かな自然・歴史・文化資源などがある。著名な観光資源が乏しいということも事実であり、地域経済を活性化させるなど、産業としての位置づけについては、あまりないと言っていい。そのためだと思うが、観光による消費が十分生まれていない。

議員 観光商品開発等支援補助金の支援を受けた観光商品が、観光客の誘致、観光消費の増加などに効果があったのか検証を行っているか。

町長 事前に審査会を行い事業を採択、成果報告もいただいている。最終的に事業者の成果に結びついたのか、そこまで評価がされていない。観光戦略プランの見直しもあるので、事業者の成果について把握をしたい。

議員 もみじ湖観光ボランティアが令和6年・7年の2年間、新規の募集が行われていないが理由は。また、今後について考えは。

商工観光課長 箕輪町観光協会が県の元気づくり支援金の採択を受け、令和3年度から3年間養成を行ってきた。新規募集を行っていない理由は、養成講座への参加者が減ってきたこと、観光協会の財政面から見て、費用対効果の観点から一旦休止としている。休止から2年が経過し、ガイドさんが高齢化していることや、転居

しろとり しんご 議員



などにより町を離れているという事例もある。ガイドさんとも相談して、後継となるガイドの養成について検討していきたい。

生活道路の法定速度 引き下げについて

議員 警察庁などではリーフレットやポスター、ホームページで周知を行っている。町でも周知を行っているか。

町長 昨年6月号の「みのわのみ」にて周知を行った。今年9月から施行になるので、「みのわのみ」では8月号で周知を行う予定。

議員 生活道路の法定速度が30km/hとなり、ゾーン30の取り扱いがどのようになるのか。警察庁では道路管理者と連携して、推進をしていく方針である。現在設定されているゾーン30の取り扱いは。

くらしの安全安心課長 既存の取り組みは、東小学校周辺のエリアに平成26年2月から設定されている。基本的にはそのままだと思っている。昨年は、小河内神社東側の町道に道路標示を行っている。この地域については、さらに手を入れていきたいと思っている。



ゾーン30南小河内地区の標識と道路標示

物価高騰に対する 支援策の拡充を

町長 国・県に対し
必要な支援を要望する

議員 肥料や飼料、農業資材の高騰が長期化し、中小規模農家の経営は厳しい。農業は農地を守る重要な産業であり、農家減少が進めば維持も困難となる。国・県への支援要望や広域的な取り組みについて町の考えは。

町長 原油価格や輸送費の上昇、資材不足などが農業経営に影響している。JAなど関係団体と連携し実態を把握するとともに、上伊那広域や町村会を通じ国・県へ支援制度の充実を要望する。必要な支援策も検討していく考えだ。

農地集約を推進

議員 農業者が減少する中、農地の集約・集積は十分進んでいない。小区域農地では大型機械やスマート農業の導入も難しい。圃場整備を含めた抜本的な対策が必要ではないか。

町長 地域計画目標地図に基づき農地集約を進めているが、土地所有者の意向などから進展しにくい面もある。本年度は農地有効利用調整委員会を設置し、中間管理制度を活用する。県と連携して圃場整備の可能性を調査し、担い手への集積と優良農地の保全につなげる考えである。

道の駅に期待

議員 令和9年春開業予定の道の駅は、直売所だけでなく飲食や体験機能の充実が重要である。果樹産地として

おぎはら しょうどう
荻原 省三 議員



の強みを生かし、地域資源を活用した魅力づくりを進めるべきではないか。

町長 農産物加工場の改修やトイレ整備、ファームテラスのリニューアル、産直売場の充実を図る。体験型事業や飲食機能を強化し、滞在時間を延ばすことで農産物販売と交流人口の増加につなげる方針だ。

観光連携を強化

議員 道の駅を拠点として、もみじ湖や赤そばの里など町内観光資源との連携を強化し、地域活性化につなげるべきである。

町長 もみじ湖や赤そばの里、みのわ温泉などへの周遊を促進する。情報発信や体験型観光、地域イベントとの連携により、道の駅を核とした観光振興と町全体への経済効果を高める方針だ。

町政の今後は

議員 3期12年の町政運営の成果と今後の町づくりについて見解は。また、今後の町政運営と進退に対する考えは。

町長 農業振興、子育て支援、福祉施策、企業誘致などに取り組んできた。今後も人口減少対策や地域活性化などの課題に対応し、町民の声を大切にしたい。町づくりを進める。進退については現時点で申し上げる段階ではない。

議会活動日誌

活動の一部を紹介します

4月
3日 保育園入園式
6日 交通安全人波作戦
7日 小学校入学式・中学校入学式
19日 萱野高原山開き
21日 消防委員会
23日 福祉文教常任委員会定例学習会 **P20参照**
24日 松島区と松島区在住議員懇談会
26日 消防団春季訓練
30日 議会活動活性化委員会・定例協議会

15日 伊那法人会箕輪支部通常総会
16日 フェンシング長野県選手権大会
18日 議会運営委員会
地域間交流推進協議会総会
ブロックで語ろう **P23参照**
19日 町商工会通常総会
20日 伊那中央行政組合議事会
153号バイパス促進期成同盟会
21日 社会福祉協議会決算監査
広域連合議長会・連絡協議会
交通安全緑十字会定期総会
青少年健全育成協議会
22日 県フェンシング協会総会・後援会
伊那交通安全協会定期総会

5月
23日 議会活動活性化委員会
24日 自衛隊協力会定期総会
25日 町消防団参与会
26日 全国議長会議・副議長研修会
福祉文教常任委員会定例学習会
町公民館運営審議会
27日 道路河川愛護会決算監査理事会
営農支援センター総会
水防協議会
28日 図書館協議会
社会福祉協議会 理事会
29日 議会運営委員会
長寿クラブ連合会新旧役員歓送迎会
30日 中部小学校・東小学校運動会
町民体育館オープニング式典

1日 上伊那広域連合定例会
3日 社会教育委員会
交番連絡協議会総会
7日 第2.3.5分団合同模擬火災訓練
9日 経営研究会総会
16日 全員協議会

17日 社会福祉協議会評議員会
18日 人権尊重のまちづくり審議会
22日 **ブロックで語ろう** **P23参照**
23日 定例協議会
24日 戦没者慰霊祭
文化財保護審議会
25日 観光商品開発補助金審査会
男女共同参画推進協議会
26日 第5期総合福祉計画策定評価委員会
28日 消防懇談会
29日 町観光協会理事会総会
福祉文教常任委員会定例学習会
箕輪進修高等学校振興協力会理事会
30日 伊那中央行政組合議事会

町民の声 こんな声が届きました。

「みんなのざかい」をより良くするため、広報モニターを実施しています。前号(96号)に寄せられた、ご意見を紹介します。

前号の全体評価

3.8/5.0 ★★★★★☆

表紙

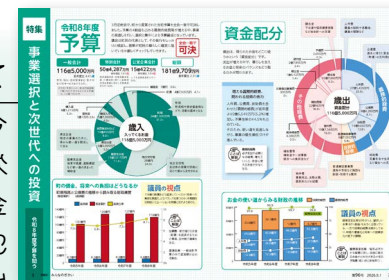
田園風景がとても素敵。街と農がマッチしている。40代

好評

好評

特集「予算」について

・グラフで見やすい。今まで予算に関心がなかったけど、ここにお金が使われるか一度はわかった。 30代
・中長期視点で財政シミュレーションを求めるのは良いと思います。 40代



好評

議員はどう見た

各議員が予算をどう見たか載っていて、面白い記事。 40代・70代

提案

3人は2人は○、残りが○という結果が少し残念。△や×があっても良かったのかな。60代



好評

3月定例会

必要な案件は可決、そうでないものは否決。わかりやすい。 60代

好評

知ってる？

みのわのいいところ住んでいても知らないことが多い。町を知るきっかけになる。 30代・60代



提案

一般質問

・全員が質問するので、もう少し内容を精査できないかな？ 60代
・課題のあるところにぜひ議論をフォーカスして、皆さんで議論して提案して、いい方向へ町をもっていってほしい。 40代

好評

自治のチカラ

地域防災の大切さ、住民の努力がよく分かる。 80代

提案

インスタでも配信してはどう？大事なものは、みんなが町に関心を持つこと。 40代



▶いただいた声を、こう活かします

「グラフが見やすい」を励みに見える化を続け、「インスタでも」「一般質問の精査」などのご提案も委員会で検討します。



モニター募集中

あなたの声で議会だよりは変わります。
議会事務局 ☎0265-79-3187

仕掛け人は町民 みんなのパワーが町を変える

自治チカラ Vol.10

とみたまかい

富玉会 ～タマネギが育む地域のつながり～

富田区民有志が、箕輪町の活性化事業をきっかけに設立した富玉会は、今年で活動17年目を迎えます。遊休農地を活用したタマネギ栽培を通じて、農地を守りながら地域の交流づくりにも力を注いでいます。

毎年、地域の子どもたちや保護者と一緒に植え付けや収穫を体験し、その後はタマネギカレーやカルパッチョを囲んで交流会を開催。世代を超えたふれあいの場となっています。収穫したタマネギは保育園や小学校へ寄贈するほか、地域や町内のイベントでも活用され、多くの人に親しまれています。



また、7年前からは学校給食へ出荷し、安全・安心な地元産食材を届けることで地産地消にも貢献しています。さらに、もみ殻燐炭を利用した土づくりにも取り組み、環境に配慮した農業にも挑戦しています。

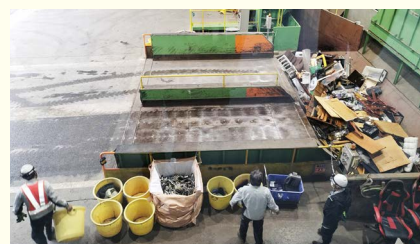
長年にわたる地域に根ざした活動が評価され、令和5年には「明日に輝け!上伊那ファーマーズの集い」農業功績者表彰を受賞しました。「農業を通じて、人と人とのつながりを育て、地域を元気にしていきたい。」

そんな思いを胸に、富玉会の活動はこれからも続いていきます。

取材協力 富玉会代表 向山 勝一さん

グリーンセンター八乙女視察(定例学習会)

福祉文教常任委員会は、4月23日グリーンセンター八乙女を視察。ちょっとした分別の誤りで、機械が停止してしまう実情や、あと2年半で現在の埋立地がいっぱいになってしまうため、それまでに別の埋立地を決定しなければならない事などの説明を受けました。



9月定例会の予定

8月28日(金).....	開会
9月 7日(月).....	一般質問
8日(火).....	一般質問
9日(水)～11日(金)...	委員会審査
15日(火).....	閉会

編集後記

厳しい暑さが続く季節となりました。私の朝の散歩も7月で30年を迎えました。どんどん歩行速度が遅くなってきているように感じています。これで健康に良いのか疑問に思うところもありますが、継続は力と信じ励んでいます。10月にはウォーキンググランプリも開催されます。私も挑みますので、みんなで参加しましょう。もう10年間Bクラスのドラゴンズを応援し続ける暗い日々を脱却できるよう歩きます。合わせて、より分かりやすく議会の活動をお伝えできるよう議会だよりの充実に務めてまいります。(中村政義)

[議会広報特別委員会]

中野 友美 (委員長) 上田 学 (副委員長) 荻原 省三 北野 めぐみ 中村 政義

議会事務局 電話 0265-79-3187(直)

ご意見・お問い合わせはコチラ▶

